2006 年 11 月 4 日

平成 18 年度武蔵工業大学市民講座

第 4 回　4-1 環境負荷の少ない快適な街づくりに向けて　4-2 田園生態系のはかり方、まもり方

4-1「環境負荷の少ない快適な街づくりに向けて」と題して東京工業大学大学院教授の梅干野晃（ホヤノアキラ）氏のお話をお聴きした。ヒートアイランド現象を緩和するため、今までの機能優先都市づくりとライフスタイルを見直し、周囲への環境負荷をできるだけ減らし、快適な生活環境実現することが求められている。梅干野氏は各種リモートセンシング手法を用いて、都市の表面温度分布を予測・評価することにより、緑化によるヒートアイランド緩和効果の具体例を住宅地と商業地について説明された。今後の都市再生プロジェクトに役立つものと期待される。

4-2「田園生態系のはかり方、まもり方」と題して武蔵工業大学助教授の田中章氏のお話をお聴きした。お話の中心は自然消失と自然復元を時空間の軸で評価する手法 HEP（Habitat Evaluation Procedure）と代償ミティゲーションについて世界各地での実体験に基づく具体例による説明で説得力があった。特に、「開発か保護か」と言う二者択一では解決にはならず、開発と保護の適切なバランスを実現することが大切であり、HEP 手法を用いて回答を試みた。